



バナナ園
グループ

2017年12月号

Monthly

December

BANANANEWS

WEST

ホームページにも情報満載!!
bananaen.com

検索

バナナ園



川崎市中原区のグループホーム「バナナ園武蔵小杉」より 「いもほり」イベントで幼老交流 小学館アカデミーかりやど保育園の園児さんをお迎えして!!



初めての体験なのに子供たちはいも掘り上手!!自分たちで掘り上げたさつまいもを見て「やった〜」と感激!!

「上手に掘ってね!!」と声をかけると、直ぐに「おばあちゃん!これ見て!!」「すごいすごいよ!おっきいのほったよ!!」可愛い声としぐさに入居者様たちは満面の笑顔、あちこちで「あらすごい!立派なさつまいもねえ」「あなたお幾つ?」「可愛いわねえ〜」と園児さんたちとの会話が弾みます。この光景を後ろで見守っていたのはご家族様、可愛い園児さんとお芋を片手にお話をするお父様、お母様を見守りながら「今日の母ったらいつもに増して明るく元気!」「私とお話をしている時とは別人のよう」と園児たちとの交流をみて不思議顔、子供たちの楽しい交流のあとは庭の畑で収穫したさつまいもで作った美味しい大学芋とさつまいも入りの山菜おこわが参加した皆様に振舞われ楽しく、満腹、笑いの絶えない一日になりました。

11月7日火曜日、深まる秋の一日と言うよりも小春日和の暖かな屋下がり、川崎市中原区のグループホーム「バナナ園武蔵小杉」では地元かりやど保育園の園児さんをお迎えして「芋ほり大会」のイベントが開催されました。この日は園児さんの他にも入居者ご家族、そして同じ中原区のグループホーム「のんびりす」の入居者様&スタッフ他50名を超える人々が集まってお芋を掘ったりご馳走を食べたり...と楽しみ満載の1日になりました。苜宿保育園の可愛い園児さん13人と先生がバナナ園武蔵小杉の庭に到着すると入居者様たちはワワッと始めました。それもそのはず30分近く前から車椅子やスタッフの歩行介助に支えられて日差しを待っていたのでした。園児さんたちの明るい挨拶の後、施設の庭のさつまいも畑で芋ほりが始まりました。畑のさつまいもはこの施設の入居者様の息子が畑作りから丁寧に指導をしていただき、入居者様たちが丹精込めて育てたさつまいもです。



「おばあちゃん、こんなに大きなお芋!私がほったのよ!!」かわいい園児さんに入居者様も嬉しそう。



勿論入居者様もいもほりに参加

秋になると様々な種類が登場するさつまいもですが、この日収穫したさつまいもは「紅あずま」という品種です。さつまいもには「ねっとり系」と「ホクホク系」がありますが、この「紅あずま」は関東で人気の品種で繊維質が少なく、蒸したり焼いたりすると「ホクホク」と「ねっとり」の中間タイプ。お料理にしても、スイーツにしても調理をすると果肉の部分が濃い黄色になり、見た目は勿論食べても甘みがあってとてもおいしいです。今回はこの「紅あずま」で「大学芋」と「芋入り山菜おこわ」を召し上がっていただきました。

美味しい大学芋が出来ました!!最近では揚げたさつまいもにからめるだけで美味しい大学芋が出来ると販売されています。



羽釜で炊いた特製山菜おこわとさつまいも入ったホクホク!



「バナナ園武蔵小杉」大井管理者：高齢者にとって施設での生活<日常>は規則正しく、スケジュールに則ったものにならざるを得ません。一方でこの高齢者施設に行ってもご利用者からは「変化がない」「することがない」という声が聞かれます。お世話をしてもらえると嬉しいのですが、その立場になると辛いものなのかもしれません。もともとグループホームが生まれたのも、高齢者が一方的に世話をされるだけというケア体制への疑問からとも言われています。人間にとって歳を重ねた者が子供の面倒を見るのは本能の一つ、子供がそこにいるだけで、たとえ認知症でも高齢者は自然と身体が動き、会話が弾みます。これが脳への刺激になります。更に「おじいちゃん」「おばあちゃん」を演ずることが通常の「される側」から「する側」に逆転し、心の充足感へと繋がります。例えば少子高齢化の今、こんな交流ができるよう、子ども向けの施設と高齢者向けの施設を同じ場所に作る「幼老施設」の取り組みが広がっているのもうなずけます。地域との交流を深めながら非日常を作り出す。「グループホーム」という形態の施設にとって「非日常と外部要因」を如何に施設に取り込むかは他の高齢者介護施設との差別化を図る上で最も重要なテーマなんです。



「小学館アカデミーかりやど保育園」鈴木園長：毎年数回は園児を連れこの「バナナ園武蔵小杉」にはお伺いしています。特に「秋のおいも掘り」は子供たちにとって人気のイベント、中原区という土地柄どうしてもマンションや集合住宅で暮らす園児が多く、実際に自然に触れ合う機会が少ないのですね、特に土いじりとなると皆無に等しい。恐らく子供達にとってさつまいもを自分の手で掘ることは「初めての体験」に違いありません。また、核家族が進んでいることもあり、高齢者の方々との交流も園児には貴重な体験です。施設の高齢者の皆さんは、子供が施設に来ると分け隔てなく頭をなで、おやつを分けあったりして下さいます。園児たちの挨拶を褒め、騒がしい時には叱る、自然な対応ですから子供たちは全く違和感を覚えませんが、4歳児にとっては最初の社会勉強になっています。更に、園児たちと認知症の高齢者は似ている点があると感じます。園児は、好き嫌いはあるにせよ、お互いの存在をあるがままに認めてしまいます。認知症のお年寄りも同様です。お互いその場に存在することを疑いもなく許容します。園児は、自分のすべてが受け入れられていることを感じています。ここに来ると自由に純真に、他人と接することができるのですね。

～多摩区のグループホーム「バナナ園生田ヒルズ」より～

生田緑地公園へようこそ

紅葉詣で秋満喫

11月7日川崎市多摩区のグループホーム「バナナ園生田ヒルズ」では入居者様6名とスタッフ4名で生田緑地にピクニックに行っていました。生田緑地は川崎市の多摩丘陵の一角にある市内最大の緑の宝庫で春はお花見、秋は紅葉狩りの名所として多くの人たちで賑わう市民にとっての癒しの場所です。最近では2階建ての駐車場やピクニックセンターが完備され、以前から有るプラザや資料展示室も増改築し素敵な公園になっています。多目的広場には子供から大人までお弁当や飲み物を開けて芝生に腰を降ろす事も出来ます。今回のピクニックはこの生田緑地で一番高い場所で鎌倉時代の源頼朝の侍大将であった稲毛重成が城を構えたと伝えられる梶形山にある展望台まで行き富士山を見ることが出来れば最高!!という計画。当日はうららかな秋風が気持ちのいい絶好のピクニック日和。スタッフが運転するマイクロバスに乗り込み、生田緑地に向かう車内では入居者様たちは、まるで学生時代に戻られた様子で、「ワーキーキー」お話を花を咲かせたりお菓子を食べたり遠足に向かうような雰囲気。さて、現地に到着するとムスカビや日本民家園のイロハモジの美しい紅葉が楽しめ「ワキレい!! 素敵な紅葉ね」と早くも大感激!!中央広場までようやくたどり着きD51型蒸気機関車を見て記念撮影。入居者様の発案でここでコーヒー。科学館のカフェに寄り、コーヒーとパスタサンドをほおぼって既に満悦。当初の目標である梶形山展望台での富士山は諦めることになりましたが、入居者様はもちろんスタッフも大変満足したイベントになりました。バナナ園生田ヒルズでは今後も季節を感じる様々な催し物やイベントを企画しています。「イベントに参加してみたい」「ボランティア活動してみたい」、また「グループホームを見学したい」「介護や認知症のことを相談したい」等ありましたら、お気軽にバナナ園生田ヒルズ(管理者:鈴木)までご連絡ください。



中央広場で記念撮影!こちらも紅葉が始まっています。自然館のタヌキさんと記念撮影



バナナ園グループで働きステップ・アップをしませんか?

介護スタッフ募集中

★介護は7行イ7～未経験だからこそその7行イ7が必要です!

■募集要項

★職種:ケア・スタッフ<①正社員/②非常勤職員>★無資格・未経験からスタート/年齢不問

★給与:① 月給:193,000円～<夜勤5日含む>

② 時給970～1,120円<介護福祉士>夜勤1回15,000～16,000円

※ 別途処遇改善加算交付金あり

★時間:9:00～17:00 17:00～翌9:00

★待遇:社保・有休・交通費規定内支給:月額50,000円迄

★勤務場所:当社各施設10箇所の中から通勤し易い場所を選べます。

●問合せ:(株)アイ・ディ・エス 採用担当まで

☎044-455-6117

2018年度新卒社員募集中

会社説明会随時開催中

エントリーはこちらから→



～宮前区のグループホーム「バナナ園生田の杜/泉」より～

秋のお出かけピクニック

深大寺に行ってきました

すすき梅雨続く10月25日、川崎市宮前区のグループホーム「バナナ園生田の杜」「バナナ園生田の泉」では毎年恒例となった秋の合同ピクニックへ。行き先は昨年の「よみうりランド」とは違って変わり東京都調布市の「深大寺」へ、都内では浅草の「浅草寺」に次ぐ古刹、都心からほど近くにありながら意外と知られていない深大寺は、大人がしっかりと散策するのに格好の地で自然豊かな散策コースが持ち味。あわせてこの地は湧き水が多く、そのため「深大寺そば」も名物となっています。ピクニック当日に向け入居者様が数日前より作っていた坊主を製作。しかし当日は晴天の願いもむなしく、あいにくの秋雨。どうなることやらと不安な気持ちも車中は笑顔でいっぱい。話も弾み、窓から見える多摩川を眺めながら「ここには釣りに来たよ」と若い頃にもどって釣りに行った思い出と釣りのコツについて話して下さる方、陽気に歌いだす方、前方じっと見つめ今か今かと目的地に着くのをひたすらお待ちになる方と、子供の頃の遠足のような。何れにしても何時もとは違う表情や会話に車内は溢れます。深大寺に着きお邪魔したお食事処は「鈴や」さん。皆様、目で味わい・舌で味わい「美味しいね」が店内にいっぱい。食べきれないほどの絶品の天ぷらとそばに舌鼓を打ち、食後は雨足のすきを見計らい近辺散策とお境内の参りへ。記念撮影もほどほどに、おやつのお団子に手をのばし満足の表情があちらこちら。同行スタッフの「そろそろ施設に帰る時間ですよ～」の声も他人事。帰りの車中も眠ることなく、笑顔とお話で盛り上がり大成功のピクニックでした。今回残念ながらお留守番となってしまった入居者様も様子を見て紅葉のシーズンが終わるまでに何とかお連れしたい...、そう感じたスタッフも多く「追いピクニック」を企画中!今回は雨天の為、お食事がメイン、深大寺参拝と散策を少しと言う流れとなりましたが入居者様に「楽しい」を提供できスタッフにとっては大きな喜びとなりました。



深大寺そばのはじまりは、江戸時代にさかのぼります。深大寺周辺の土地が米の生産に向かないため、小作人はそばをつくり、米の代わりにそば粉を寺に納め、寺ではそばを打って来客をもてなしたのが、深大寺そばの始まりと伝えられています。



グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記の各施設もしくは総合案内

044-455-6119



バナナ園グループ

【グループホーム】

●川崎大師バナナ園 ☎044-280-2386

●第2バナナ園 ☎044-587-1773

●バナナ園武蔵小杉 ☎044-863-7101

●バナナ園ほりうち家 ☎044-722-5361

●のんびりす等々力 ☎044-750-9203

●のんびりす ☎044-422-2295

●バナナ園生田ヒルズ ☎044-911-1599

●バナナ園生田の杜 ☎044-789-5691/5692

●バナナ園生田の泉 ☎044-789-5693

●バナナ園横浜山手 ☎045-264-9634

【居宅介護支援事業所】

●ばななケアプラザセンター☎044-712-5945

月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行)

通算第156号 編集:株式会社アイ・ディ・エス

川崎市中原区新丸子町734-2 ☎044-455-6119

<HP> <http://www.bananaen.com/>